



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル

コード番号 2183 URL <http://www.linical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秦野 和浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 明宏 TEL 06-6150-2582

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,007	17.6	293	△4.9	293	△4.3	168	△10.4
26年3月期第2四半期	1,706	△1.0	308	△41.3	306	△41.4	188	△41.8

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 188百万円 (△0.5%) 26年3月期第2四半期 189百万円 (△40.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	14.80	ー
26年3月期第2四半期	16.53	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	2,927	1,881	64.3	165.09
26年3月期	2,836	1,851	65.3	162.52

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,881百万円 26年3月期 1,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	ー	0.00	ー	14.00	14.00
27年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
27年3月期(予想)	ー	ー	ー	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,846	30.2	1,023	44.9	1,020	44.9	619	37.9	54.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）一、除外 1社（社名）P-pro. Korea Co., Ltd.
詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	12,370,000株	26年3月期	12,370,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	975,094株	26年3月期	975,094株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	11,394,906株	26年3月期2Q	11,394,906株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記資料には、本資料発表日現在の将来に関する見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実績の間には、今後様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに弊社ホームページで掲載する予定です。

・平成26年11月21日（金）・・・・・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業業績の順調な推移や雇用環境の改善が見られ景気は回復基調にあるものの、消費税増税に伴う個人消費の停滞もみられました。また、欧州景気の先行き懸念や政情不安などの影響もあり、先行きの不透明な状況は続いております。

また、医薬品業界におきましては、薬価基準の引き下げや後発品の普及促進などの薬剤費削減策の強化、主力製品の特許切れ問題及び世界的な新薬の承認審査の厳格化などにより、医薬品開発の競争はますます激化しております。

当社グループが属する医薬品開発業務受託（CRO；Contract Research Organization）業界及び医薬品販売支援（CSO；Contract Sales Organization）業界は、近年、業界内の淘汰が進んだ結果、競争は激しくなっているものの、医薬品開発・販売のアウトソーシング化及び国際共同治験の増加を背景として、市場規模は緩やかに拡大しております。

このような状況の下、当社グループのCRO事業につきましては、増加するがん領域及び中枢神経系（CNS）領域の案件の受託体制を強化するとともに、引き続き営業活動を強力に推進し、複数の新規案件を受託した結果、売上に貢献することとなりました。一方、利益面においては、先行的な人員の採用による人件費の増加やのれん償却額の発生により、前年同四半期を下回ることとなりました。CSO事業につきましては、営業活動を強力に推進した結果、新規案件の受託に成功し、売上及び利益に貢献することとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,007百万円（前年同四半期比17.6%増）、営業利益は293百万円（同4.9%減）、経常利益は293百万円（同4.3%減）、四半期純利益は168百万円（同10.4%減）と増収減益となりました。

（注）「国際共同治験」とは、主要市場国における早期・同時上市を図るため、臨床試験を複数の国または地域において同時並行的に行うことをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ91百万円（3.2%）増加し、2,927百万円となりました。これは、主に差入保証金の増加等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ61百万円（6.3%）増加し、1,046百万円となりました。これは、主に未払法人税等の増加等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ29百万円（1.6%）増加し、1,881百万円となりました。これは、主に為替換算調整勘定の増加によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より74百万円減少し、1,533百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は146百万円（前年同四半期は42百万円の使用）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益293百万円の計上があったものの、預り金の減少額91百万円、法人税等の支払額64百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は56百万円（前年同四半期は10百万円の使用）となりました。これは、主に差入保証金の差入による支出39百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は176百万円（前年同四半期は205百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払額159百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 概要

当第2四半期連結累計期間において、当社の経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。引き続き、当社グループは受託業務の選択と集中を推し進め、既存のCRO、CSOとの差別化を図ることにより、順調に推移すると予測しております。

平成27年3月期通期の業績予想につきましては、本年5月12日に発表いたしました内容に変更はございません。ただし、平成26年10月30日発表の「Nuvisan CDD Holding GmbHの買収に関するお知らせ」にて公表済みの内容に関する影響については、現在精査中であり、今後、業績予想に重要な影響を与えることが明らかとなった場合には、速やかに開示いたします。

② 受注残高の推移

当社グループのCRO事業において受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。CSO事業においても、同程度の期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から3年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

下表のとおり、平成26年3月期末の受注残高に比べ平成26年10月31日時点の受注残高は2.8%増加しておりますが、これは、既存の委受託契約を順調に消化し受注残高の金額が売上高として計上されたものの、これを上回る受託案件の新規契約があったことによるものです。上記のとおり、アウトソーシング化及び国際共同治験の増加を背景に足下の受注環境は良好であり、営業活動の結果、既存・新規の顧客から受託案件の打診を受けていることから、CRAの増員などにより、受託体制の強化に努めてまいります。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

	平成26年 3月期末 (A)	平成27年3月期		増減率% (B-A)/A
		第2四半期末	平成26年10月 31日時点 (B)	
受注残高	5,604	4,969	5,762	2.8
内訳	塩野義製薬	2,152	1,542	△28.3
	小野薬品工業	424	663	122.5
	中外製薬	883	643	0.6
	武田薬品工業 グループ	674	463	△28.4
	その他	1,470	1,655	1,903

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間において、当社の100%子会社であるLINICAL KOREA CO., LTD. が、その100%子会社であるP-pro. Korea Co., Ltd. を吸収合併したため、P-pro. Korea Co., Ltd. を連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,557,347	1,482,505
売掛金	634,720	661,530
有価証券	51,050	51,062
仕掛品	661	64
前払費用	39,443	52,121
繰延税金資産	43,391	51,288
立替金	59,215	63,111
その他	1,414	44,039
貸倒引当金	△107	△77
流動資産合計	2,387,137	2,405,646
固定資産		
有形固定資産	37,551	43,175
無形固定資産		
のれん	136,913	132,406
その他	9,809	44,344
無形固定資産合計	146,722	176,750
投資その他の資産		
差入保証金	230,159	263,894
その他	34,925	38,258
投資その他の資産合計	265,085	302,152
固定資産合計	449,359	522,079
資産合計	2,836,497	2,927,725
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	30,000	30,000
未払金	107,494	111,671
未払費用	61,438	79,657
未払法人税等	75,718	140,971
未払消費税等	21,996	75,532
預り金	115,549	24,463
賞与引当金	94,825	106,723
その他	6,038	5,940
流動負債合計	513,063	574,960
固定負債		
社債	350,000	350,000
長期借入金	17,500	2,500
退職給付に係る負債	94,132	111,335
その他	9,900	7,710
固定負債合計	471,533	471,546
負債合計	984,596	1,046,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
資本剰余金	73,000	73,000
利益剰余金	1,842,703	1,851,876
自己株式	△289,174	△289,174
株主資本合計	1,840,572	1,849,744
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	11,328	31,474
その他の包括利益累計額合計	11,328	31,474
純資産合計	1,851,900	1,881,219
負債純資産合計	2,836,497	2,927,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,706,780	2,007,671
売上原価	1,042,896	1,317,342
売上総利益	663,884	690,329
販売費及び一般管理費	355,266	396,933
営業利益	308,617	293,396
営業外収益		
受取利息	521	431
為替差益	—	1,439
営業外収益合計	521	1,870
営業外費用		
支払利息	2,378	1,852
その他	262	—
営業外費用合計	2,640	1,852
経常利益	306,497	293,414
特別損失		
固定資産除却損	—	388
特別損失合計	—	388
税金等調整前四半期純利益	306,497	293,025
法人税、住民税及び事業税	117,635	136,038
法人税等調整額	514	△11,713
法人税等合計	118,149	124,324
少数株主損益調整前四半期純利益	188,347	168,701
四半期純利益	188,347	168,701

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	188,347	168,701
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,396	20,146
その他の包括利益合計	1,396	20,146
四半期包括利益	189,744	188,847
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,744	188,847

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	306,497	293,025
減価償却費	6,021	7,903
のれん償却額	—	14,201
長期前払費用償却額	1,637	1,473
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,283	11,897
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△36
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11,960	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	16,035
受取利息及び受取配当金	△521	△431
支払利息	2,378	1,852
固定資産除却損	—	388
為替差損益 (△は益)	△244	△2,101
売上債権の増減額 (△は増加)	△33,599	△26,140
たな卸資産の増減額 (△は増加)	—	597
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△27,470	53,586
立替金の増減額 (△は増加)	△17,746	△3,895
前払費用の増減額 (△は増加)	△8,631	△12,517
未払金の増減額 (△は減少)	△35,252	△21,601
預り金の増減額 (△は減少)	△33,978	△91,123
その他	6,877	△30,556
小計	192,210	212,558
利息及び配当金の受取額	553	434
利息の支払額	△2,529	△1,863
法人税等の支払額	△232,711	△64,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	△42,477	146,474
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,340	△11,900
無形固定資産の取得による支出	—	△10,720
長期前払費用の取得による支出	△1,525	△39
差入保証金の差入による支出	△1,057	△39,433
差入保証金の回収による収入	448	5,356
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,475	△56,736
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△15,000	△15,000
配当金の支払額	△187,490	△159,165
リース債務の返済による支出	△2,597	△2,651
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205,088	△176,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,660	12,248
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△256,380	△74,829
現金及び現金同等物の期首残高	1,733,116	1,608,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,476,735	1,533,568

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。